

17. 教育職員免許状の取得について

平成18年度以降入学者用

本学部の学生で、教育職員免許法及び同法施行規則により定められた単位を修得した者は、次の免許状を取得することができる。

1 免許状の種類及び免許教科

教育職員免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	社会, 国語, 英語, ドイツ語, フランス語
高等学校教諭一種免許状	地理歴史, 公民, 国語, 英語, ドイツ語, フランス語

2 基礎資格及び必要修得単位数

免許状の種類	基礎資格	必要修得単位数		
		教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目(注1)
中一種免	学士の学位を有すること。	31	20	8
高一種免		25 (注2)	20	16

(注1) 取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から修得すること。

(注2) 免許法で求められるより2単位多く修得することになります。この2単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることができます。

また、中学校、高等学校の両方の免許取得希望者が、教育実習5単位を修得した場合、高等学校免許申請時に「教職に関する科目・教育実習2単位(中学校免許5単位と、高等学校免許3単位の差)」を「教科又は教職に関する科目」にあてることができます。

3 介護等の体験

- (1) 中学校免許取得希望者は、必ず社会福祉施設等において7日間の「介護等体験」を行うこと。
- (2) 介護等体験は原則2年次で体験すること。
- (3) 介護等体験に参加するには、別途指示する時期に申し込みのうえ、必ず事前指導を受けること。
- (4) 介護等体験の手続きの詳細は、前年度の1月後半頃に掲示するので、講義棟1階掲示板で日程等をよく確認すること。

4 免許状取得に関する単位修得方法

- (1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(中一種免, 高一種免共通)〈必ず修得すること〉
教養教育科目

授業科目	必要修得単位数	備考
日本国憲法	2	必修
スポーツ実習A スポーツ実習B スポーツ実習C スポーツ実習D(平成19年度以降入学生のみ) スポーツ実習E(平成19年度以降入学生のみ) スポーツ実習F(平成19年度以降入学生のみ) 健康スポーツ科学	2	2科目選択必修 (注)異なる授業科目名のものを修得すること
英語(ネイティブ) 英語(オラコン)	2	選択必修
情報処理入門(情報機器の操作を含む。)	2	必修

(2) 中学校教諭一種免許状取得に必要な単位

中学校教諭免許取得に必要な「教職に関する科目」の単位は、以下の表により修得してください。また、「教科に関する科目」は、51頁以降の表を参照し、必要な単位を修得してください。

以下の表は、平成22年度以降入学生に適用されるものですので、平成21年度以前の入学生は注意してください。

注意：○印の授業科目は必修

区 分		授業科目名	必要 単位数	備 考	
教 職 に 関 る 科 目 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	○ 教職論	2	注1 (免許ごとの教科の指導法) の授業科目は50頁の“免許ごとの「教科の指導法」”を参照してください。 注2 高校免許も取得する場合、中学校免許用として修得した「道德教育論」の単位は、高校免許の「教職に関する科目」としては使えませんが、高校免許の「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることができます。	
	教育の 基礎理 論に関 する科 目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	○ 学校と教育の歴史		6
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	○ 学校教育心理学 ----- 学習心理学		
		教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項	○ 教育の制度と社会 ----- 人権・同和教育		
	教育課 程及び 指導法 に関す る科目	教育課程の意義及び編成の方法	○ カリキュラム論		12
		各教科の指導法	○ (免許ごとの教科の指導法) ^{注1}		
		道德の指導法	○ 道德教育論 ^{注2}		
		特別活動の指導法	○ 特別活動論		
		教育の方法及び技術	○ 教育の方法と技術		
			現代教育方法学 学習意欲向上の原理と方法 教育評価・測定		
	生徒指導、教育相談及び進路指導 等に関する科目	○ 生徒指導論Ⅰ (教育相談、進路 指導を含む)	4		
		選択 必修 { 教育相談論B ----- 生徒指導論ⅡB			
	教育実習	○ 教育実習Ⅱ (教育実習基礎研究)	5		
		○ 教育実習Ⅳ (中学校)			
教職実践演習	○ 教職実践演習 (中・高)	2			
合 計			31		
教科に関する科目			20	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」から修得してください。	
教科又は教職に関する科目			8	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から修得してください。	

教職に関する科目は、教育学部開講科目となります。

各年度に開講する科目、時間割等については、別に配布する【教育学部教職科目開講一覧】で確認してください。

なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程・教室については、別途掲示します。

科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は、掲示で周知しますので、文・法・経済学部講義棟1階の文学部掲示板及び教育学部の掲示板を必ず確認するよう注意してください。

(3) 高等学校教諭一種免許状取得に必要な単位（教職に関する科目）

高等学校教諭免許取得に必要な「教職に関する科目」の単位は、以下の表により修得してください。また、「教科に関する科目」は、51頁以降の表を参照し、必要な単位を修得してください。

以下の表は、平成22年度以降入学生に適用されるものですので、平成21年度以前の入学生は注意してください。

注意：○印の授業科目は必修

区 分		授業科目名	必要 単位数	備 考	
教 職 に 関 す る 科 目 に 関 す る 科 目	教職の意義等に関する科目	○ 教職論	2	注1（免許ごとの教科の指導法）の授業科目は50頁の“免許ごとの「教科の指導法」”を参照してください。 注2 免許法上では6単位必要ですが、カリキュラム上8単位修得する必要があります。 注3 中学校免許を同時に取得する場合は、5単位修得することになります。 注4 免許法で求められるより2単位（中学校免許を同時に取得する場合は4単位）多く修得することになります。この2単位（又は4単位）は、「教科又は教職に関する科目」の単位にあてることができます。	
	教育の 基礎理 論に関 する科 目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	○ 学校と教育の歴史		6
		幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	○ 学校教育心理学 ----- 学習心理学		
		教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項	○ 教育の制度と社会 ----- 人権・同和教育		
	教育課 程及び 指導法 に関す る科目	教育課程の意義及び編成の方法	○ カリキュラム論		8 ^{注2}
		各教科の指導法	○（免許ごとの教科の指導法） ^{注1}		
		特別活動の指導法	○ 特別活動論		
		教育の方法及び技術	○ 教育の方法と技術 ----- 現代教育方法学 ----- 学習意欲向上の原理と方法 ----- 教育評価・測定		
	生徒指導、教育相談及び進路指導 等に関する科目	○ 生徒指導論Ⅰ（教育相談、進路 指導を含む）	4		
		選択 必修 { 教育相談論B ----- 生徒指導論ⅡB			
	教育実習	○ 教育実習Ⅱ（教育実習基礎研究）	3 ^{注3}		
		○ 教育実習Ⅴ（高等学校）			
	教職実践演習	○ 教職実践演習（中・高）	2		
合 計			25 ^{注4}		
教科に関する科目			20	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」から修得してください。	
教科又は教職に関する科目			16	取得しようとする免許教科の「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」から修得してください。	

教職に関する科目は、教育学部開講科目となります。

各年度に開講する科目、時間割等については、別に配布する【教育学部教職科目開講一覧】で確認してください。

なお、時間割の変更等については、教育学部講義棟掲示板で確認してください。また、集中講義の日程・教室については、別途掲示します。

科目や履修方法、開講時期等について変更がある場合は、掲示で周知しますので、文・法・経済学部講義棟1階の文学部掲示板及び教育学部の掲示板を必ず確認するよう注意してください。

(4) 教職に関する科目：免許ごとの「教科の指導法」履修方法について

注意：○印の授業科目は必修

免許教科	授業科目名	必要単位数
中学校（国語） 高等学校（国語）	○ 中等国語科指導法A ----- 中等国語科指導法B	2
中学校（社会）	選択 必修 { 中等社会科指導法A ----- 中等社会科指導法B	2
高等学校（地理歴史）	○ 社会科教育特講（地理歴史科教育法）	2
高等学校（公民）	○ 社会科教育特講（公民科教育法）	2
中学校（英語） 高等学校（英語）	選択 必修 { 中等英語科指導法A ----- 中等英語科指導法B ----- 中等英語科指導法開発	2
中学校（ドイツ語） 高等学校（ドイツ語）	選択 必修 { 中等独語科指導法Ⅰ ----- 中等独語科指導法Ⅱ ----- 中等独語科指導法Ⅲ ----- 中等独語科指導法Ⅳ	2
中学校（フランス語） 高等学校（フランス語）	選択 必修 { 中等仏語科指導法Ⅰ ----- 中等仏語科指導法Ⅱ ----- 中等仏語科指導法Ⅲ ----- 中等仏語科指導法Ⅳ	2

【履修にあたっての注意事項】

各教科の指導法は、取得しようとする免許教科ごとに履修しなければなりません。また、各教科の指導法は、取得しようとする免許教科にしか教職用の単位として使用できません。

(5) 教職に関する科目：教育実習について

1. 教育実習は、4年次の前期（原則4月から6月）に高一種免は2週間、中一種免は4週間各自の出身校で履修すること。
2. 教育実習を行う前年度までに、教育実習履修資格単位を修得しておくこと。（下記※参照）
3. 教育実習に関する手続の詳細は、その都度掲示により連絡するので期限厳守で手続を行うこと。
4. 教育実習基礎研究（事前・事後指導）は、実習を行う年度の前年度後期から始まります。文・法・経済学部1階の掲示板で日程等をよく確認すること。なお、教育実習及び教育実習基礎研究の履修登録は、文学部教務担当で行います。
5. 事情により教育実習を辞退する場合は、速やかに文学部教務担当へ届け出るとともに、出身校へ必ず連絡すること。
6. 実習を行う年度の前年度（4年次に教育実習を履修する場合、3年次）の4月頃から様々な手続きが必要になります。文・法・経済学部講義棟1階の掲示板を常に確認すること。

【教育実習履修要件：平成21年度以前入学生適用】

※ 教育実習履修資格単位	
以下に掲げる科目を各2単位以上計12単位修得済みであることを教育実習の履修要件とする。	
① 教職の意義等に関する科目	} 各2単位以上 計12単位以上
② 教育の基礎理論に関する科目	
③ 教育課程及び指導法に関する科目	
④ 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	

【教育実習履修要件：平成22年度以降入学生適用】

※ 教育実習履修資格単位	
下表のとおり修得済みであることを教育実習の履修要件とする。	
教職に関する科目の区分	必要単位数
教職の意義等に関する科目	2単位以上
教育の基礎理論に関する科目	2単位以上
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法2単位を含めて4単位以上
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位以上
教職に関する科目の合計	16単位以上

(6) 教職に関する科目：教職実践演習について

1. 教職実践演習は、平成22年度以降入学生の履修科目です。
2. 4年次後期に履修すること。
3. 日程やクラス分けの詳細は、掲示により連絡します。

5 各教員免許状の教科に関する科目に対応する授業科目

(1) 人文学科[中学校(社会), 高等学校(地理歴史), 高等学校(公民)]

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

中学校教諭一種普通免許状(社会) 高等学校教諭一種普通免許状(地理歴史)・(公民)				
教科に関する科目			授 業 科 目	備 考
中一種社会	高一種地歴	高一種公民		
日本史及び外国史	日本史	注) 右欄の授業科目は、高一種公民の教科目にはならない。	日本美術史講義 日本美術史演習 ○日本史概説1 日本史概説2 日本史講義 考古学概説1 考古学概説2 考古学講義 日本史演習 考古学演習	
	外国史		西洋美術史講義 西洋美術史演習 ○アジア史概説1 アジア史概説2 ○西洋史概説1 西洋史概説2 アジア史講義 西洋史講義 文化交流史講義 アジア史演習 西洋史演習	
地理学(地誌を含む。)	人文地理学及び自然地理学		○人文地理学概説 ○自然地理学概説	
	地誌		○地誌学講義	
「法学, 政治学」	注) 右欄の授業科目は、高一種地歴の教科目にはならない。	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	憲法ⅡA 憲法ⅡB 企業法総論 国際政治論 ○政治学	法学部 法学科 開設
			市民生活と法 市民と行政Ⅰ 市民と行政Ⅱ 民事紛争処理法 権利救済法 企業組織の法Ⅰ 企業組織の法Ⅱ 犯罪と法Ⅰ 犯罪と法Ⅱ 労働と法 雇用と法 国際社会と法Ⅰ 国際社会と法Ⅱ 国際社会と法Ⅲ 国際社会と法Ⅳ	
			倒産処理法	(平成20～23年度入学生 履修科目)
			民法入門 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 民事訴訟法 会社法Ⅰ 会社法Ⅱ 刑法総論Ⅰ 刑法総論Ⅱ 労働関係法 雇用関係法 国際法概論Ⅰ 国際法概論Ⅱ 国際法各論Ⅰ 国際法各論Ⅱ	(平成20～24年度入学生 履修科目)

(前頁より)

「社会学, 経済学」		「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	<ul style="list-style-type: none"> ○社会学概説 1 ○社会学概説 2 ○文化人類学概説 1 ○文化人類学概説 2 ○社会文化学概説 ○社会学講義 ○文化人類学講義 ○社会文化学講義 ○社会学演習 ○文化人類学演習 ○社会文化学演習 	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	注) 右欄の授業科目は, 高一種地歴の教科目にはならない。	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	<ul style="list-style-type: none"> *哲学概説 1 *哲学概説 2 *倫理学概説 1 *倫理学概説 2 *思想史概説 1 *思想史概説 2 *哲学講義 *倫理学講義 *思想史講義 *美学講義 *哲学演習 *倫理学演習 *思想史演習 *美学演習 *比較宗教史講義 	※中一種社会は, *印哲学概説 1 及び倫理学概説 1 の内から 1 科目選択必修
注) 右欄の授業科目は, 中一種社会の教科目にはならない。			<ul style="list-style-type: none"> *心理学概説 1 *心理学概説 2 *心理学講義 *心理学演習 	※高一種公民は, *印哲学概説 1, 倫理学概説 1 及び心理学概説 1 の内から 1 科目選択必修

(2) 人文学科 [中学校 (国語), 高等学校 (国語)]

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

中学校教諭一種普通免許状 (国語)		高等学校教諭一種普通免許状 (国語)		
教科に関する科目		授 業 科 目		備考
中 一 種 国 語	高 一 種 国 語			
国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国 語 学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語学概説 1 ○日本語学概説 2 ○日本語学講義 1 ○日本語学講義 2 ○日本語学演習 ○言語学講義 1 ○言語学演習 1 		
国 文 学 (国文学史を含む。)	国 文 学 (国文学史を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本言語文化学概説 1 ○日本言語文化学概説 2 ○日本言語文化学講義 ○日本言語文化学演習 		
漢 文 学	漢 文 学	<ul style="list-style-type: none"> ○中国言語文化学概説 1 ○中国言語文化学概説 2 ○中国言語文化学講義 		□ 選択必修
書 道 (書写を中心とする。)	注) 右欄の授業科目は, 高一種国語の教科目にはならない。	○書写・書道概論		

(3) 人文学科 [中学校 (英語), 高等学校 (英語)]

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

中学校教諭一種普通免許状 (英語)		高等学校教諭一種普通免許状 (英語)	
教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 英 語	高 一 種 英 語		
英 語 学	英 語 学	○英語学概説 英語学講義 英語学演習 言語学講義 2 言語学演習 2	
英 米 文 学	英 米 文 学	○英米言語文化学概説 1 ○英米言語文化学概説 2 英米言語文化学講義 英米言語文化学演習	<input type="checkbox"/> 選択必修
英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	英語表現法 1 英語表現法 2 ○英語コミュニケーション 1 英語コミュニケーション 2 英語コミュニケーション 3 英語コミュニケーション 4 英語コミュニケーション 5 英語コミュニケーション 6	
異文化理解	異文化理解	○時事英語 1 時事英語 2 時事英語 3	

(4) 人文学科 [中学校 (ドイツ語), 高等学校 (ドイツ語)]

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

中学校教諭一種普通免許状 (ドイツ語)		高等学校教諭一種普通免許状 (ドイツ語)	
教科に関する科目		授 業 科 目	備考
中 一 種 独 語	高 一 種 独 語		
独 語 学	独 語 学	○ドイツ語学概説 ドイツ語学講義 ドイツ語学演習 ドイツ語読解法 ドイツ語表現法 1 ドイツ語表現法 2 ドイツ語上級 総合ドイツ語 ドイツ語翻訳法 (平成18年度入学生履修科目)	
独 文 学	独 文 学	○ドイツ言語文化学講義 ドイツ言語文化学演習	
独語コミュニケーション	独語コミュニケーション	○ドイツ語コミュニケーション 1 ドイツ語コミュニケーション 2 ドイツ語コミュニケーション 3 注1 ドイツ語コミュニケーション 4 注1 ドイツ語コミュニケーション 5 ドイツ語コミュニケーション 6	
異文化理解	異文化理解	○ドイツ言語文化学概説 1 ○ドイツ言語文化学概説 2 ドイツ文化論 時事ドイツ語 (平成18～23年度入学生履修科目)	<input type="checkbox"/> 選択必修

注1) ドイツ語コミュニケーション3, ドイツ語コミュニケーション4について, 平成18年度入学生は4単位の授業科目を, 平成19～24年度入学生は2単位の授業科目を履修すること。

(5) 人文学科 [中学校 (フランス語), 高等学校 (フランス語)]

※単位の修得方法は別表に定めるところによる。○印の授業科目は必修

中学校教諭一種普通免許状 (フランス語)		高等学校教諭一種普通免許状 (フランス語)		備考
教科に関する科目		授 業 科 目		
中 一 種 仏 語	高 一 種 仏 語			
仏 語 学	仏 語 学	○フランス語学概説 フランス語学講義 フランス語学演習 翻訳フランス語文法 (平成18～20年度入学生履修科目)		
仏 文 学	仏 文 学	○フランス言語文化学講義 フランス言語文化学演習		
仏語コミュニケーション	仏語コミュニケーション	○フランス語コミュニケーション1 フランス語コミュニケーション2 フランス語コミュニケーション3 フランス語コミュニケーション4 フランス語コミュニケーション5 フランス語コミュニケーション6 フランス語作文1 フランス語作文2 フランス語作文3 フランス語作文4 (平成18～20年度入学生履修科目)		
異文化理解	異文化理解	○フランス言語文化学概説1 ○フランス言語文化学概説2 フランス文化総合演習1 フランス文化総合演習2 フランス文化総合演習3 フランス文化総合演習4 (平成18～20年度入学生履修科目)		<input type="checkbox"/> 選択必修

別表 (単位修得方法：中学校教諭一種普通免許状)

第 一 欄	第 二 欄	必要単位数
免許教科	教科に関する科目	
国 語	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。) 国文学 (国文学史を含む。) 漢文学 書道 (書写を中心とする。)	1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 計 2 0 単位以上
社 会	日本史及び外国史 地理学 (地誌を含む。) 「法学, 政治学」 「社会学, 経済学」 「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 計 2 0 単位以上
英 語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解	1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 計 2 0 単位以上
独 語	独語学 独文学 独語コミュニケーション 異文化理解	1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 計 2 0 単位以上
仏 語	仏語学 仏文学 仏語コミュニケーション 異文化理解	1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 1 単位以上 計 2 0 単位以上

別表（単位修得方法：高等学校教諭一種普通免許状）

第一欄	第二欄	必要単位数
免許教科	教科に関する科目	
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） 国文学（国文学史を含む。） 漢文学	1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
地理歴史	日本史 外国史 人文地理学及び自然地理学 地誌	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
公民	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
英語	英語学 英米文学 英語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
独語	独語学 独文学 独語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上
仏語	仏語学 仏文学 仏語コミュニケーション 異文化理解	1単位以上 1単位以上 1単位以上 1単位以上 計20単位以上